

農業に楽しい イメージ持って

長峰中3年生コラボ企画

茅野市農業祭

第35回茅野市農業祭・第21回J.A信州諏訪農業祭（茅野市会場）は20日、市運動公園で開いた。新鮮な地元野菜や果物などの販売をはじめ、キャラクターショー、花まつり、同市や同J.Aの姉妹都市の特産品販売、福引き、抽選会など多彩な催しがあり、子どもからお年寄りまで多くの来場者でにぎわった。

午前8時20分のセレモニー

に続いて体育館前の広場で各催しコーナーがスタート。牛乳や米粉パン、餅などの無料配布や、アルパカふれあい体験にも行列ができた。

農業委員会のブースでは、同市長峰中学校3年生5人がコラボレーションした射的やポップコーンの配布があり、子どもたちに大人気。生徒によると学年の総合的な学習の時間のテーマ「茅野市を自分



農業委員会とコラボして射的やポップコーンの配布を行う長峰中学校の生徒

の力で動かそう」の一環として、5人は「農業」をテーマに取り組んでいる。市に「子どもたちに農業に対して楽しいイメージを持ってもらうにはどうしたらいいか」と相談したのをきっかけにコラボが実現し、委員たちと打ち合わせをしながら遊びの内容を決めたという。

生徒は遊び方を説明したり、特典に応じて景品を渡したり笑顔で対応。小林晴さん（14）は「思ったより多くの子どもが来てくれてうれしい。農業への関心が高まってくれたらうれしい」と話していた。

（武井葉子）